



Sporting Regulations

競技規則書

Ktaikyu GTtaikyu

Tokai Series 2012



www.gt-produce.com

『2012 K耐久／GT耐久東海シリーズ』 大会規則／安全規則 Ver.1-3

【大会規則】

※ 昨年からの変更点は**赤色**で記載してあります。(開催日程以外)

※ Ver1-2 以降の変更点は**青色**で記載してあります。

開催日程	K耐久／GT耐久 共通			
		開催日時	申込受付期間	早割適用入金期限
	第1戦	3月18日(日)	2月13日～2月27日	2月20日入金まで
	第2戦	5月20日(日)	4月16日～5月1日	4月23日入金まで
	第3戦	7月15日(日)	6月11日～6月25日	6月18日入金まで
	第4戦	10月14日(日)	9月10日～9月24日	9月18日入金まで
	第5戦	12月9日(日)	11月5日～11月19日	11月12日入金まで
	・開催場所は全て「スバ西浦モーターパーク」。 ・決勝時間は全て3時間で15分の練習走行あり。 ・ 早割りは、入金期限の期日までに指定口座に入金がなされないと認められません。 ※ K耐久とGT耐久で、どちらが午前・午後になるかは公式通知にて発表となります			
参加資格	1. 有効な普通自動車免許の所有者であること。 2. 主催者が認めるドライバー。			
参加申込	1. 申込受付期間 上記、開催日程の欄に記載された申込受付期間内に下記の要領で申し込むこと。 2. 申込方法 ①必要書類(「参加申込書」と「車両申告書」)に必要事項を記載の上、下記の「GT走行会運営事務局」まで郵送、FAX、またはe-mailで送付すること。 ※必要書類は公式HPよりダウンロードするか、事務局までご請求下さい。 『申込先』 〒438-0073 静岡県磐田市二之宮東14-17 (株)GT CAR プロデュース内「GT走行会運営事務局」宛て FAX : 0538-37-6678 e-mail : info@gt-produce.com ②参加費用を参加申込書送付から3日以内に銀行振込で送金すること。 『振込先』 浜松信用金庫 磐田支店 普通 098186 口座名義 カ)ジーティーカープロデュース ※ チーム代表者名と別名義で入金する場合は、申込書の所定の欄にその旨を記載すること ※振込手数料は参加者負担とする 3. 申し込みの成立 必要書類到着と、参加費用の入金をもって申し込みが成立する。募集台数に達した場合は、正式申し込みの順にて受理する。 4. キャンセルについて ・申込期間中のキャンセルは事務手数料1,000円を差し引き返金する。 ・ 受理書発送後から、大会前前日までのキャンセルは半額を返金する。 ・大会前日以降のキャンセルはできない。(リタイヤ扱いとなる) ・ キャンセルの場合、エントリー代の次戦繰り越しは出来ない。(毎戦精算させていただきます) ※指定ピットの位置は、申込書に希望した側から、申込順に割り振る。 ※他チームと隣り合わせのピットを希望する場合は申込書に記載すること。この場合、後から申し込んだ方のチームの順番で、ピット位置を割り振る。			
参加費用	ロールケージ装着車両・・・46,000円(税込) ロールケージ未装着車両・・・51,000円(税込) ただし下記の各種割引制度で、最大▲6,000円の割引あり。 ①早割り・・・▲2,000円割引 早割適用入金期限(開催日程欄参照)までに申込みと指定口座への入金が完了した場合に適用。 ②リポート割り・・・▲2,000円割引 前戦に続いてエントリーした車両に適用(第2戦より)。注)累積はされない ③学割り・・・▲2,000円割引 大学、専門学校の自動車部・サークルのチームに適用。参加車両名に、学校名を入れること。 ※ロールケージの装着を強く推進するため、装着の有無で参加費の差を設ける ※ロールケージ装着義務付けのクラスは、未装着では参加できない			
参加人数	全戦とも1チームあたり2～6名までのドライバーとする。 ※登録してあるドライバーであれば運転の順番・回数は自由とする			

<p>クラス分け</p>	<p>1) K耐久(軽自動車) 下表の通り5つのクラスに分けられる</p> <table border="1" data-bbox="411 257 1430 526"> <tr> <td></td> <td>ノーマルクラス (ほとんど改造が 出来ないクラス)</td> <td>クローズドクラス (改造範囲の 狭いクラス)</td> <td>オープンクラス (改造範囲の 広いクラス)</td> </tr> <tr> <td>NAエンジン</td> <td>KNNクラス</td> <td>KNCクラス</td> <td>KNOクラス</td> </tr> <tr> <td>過給機付き エンジン</td> <td>-----</td> <td>KTCクラス</td> <td>KTOクラス</td> </tr> </table> <p>【補足事項】 ・全クラスともナンバープレート(車検)の有無は問わない。 ・新規格軽自動車は★「-1分」の義務ピット時間ハンディー減算とする。 ・ノーマル、クローズド、オープンの分けについては車両規則を確認のこと。</p> <p>2)GT耐久(普通車) 下表の通り4つのクラスに分けられる</p> <table border="1" data-bbox="411 761 1430 1205"> <tr> <td></td> <td>クローズドクラス (改造範囲の 狭いクラス)</td> <td>オープンクラス (改造範囲の 広いクラス)</td> </tr> <tr> <td>1000cc 以下のNA車</td> <td>1Cクラス</td> <td rowspan="3">OPクラス</td> </tr> <tr> <td>1001cc～1500cc のNA車 1200cc 以下の過給機付車</td> <td>2Cクラス</td> </tr> <tr> <td>1501cc 以上のNA車 1201cc 以上の過給機付車</td> <td>3Cクラス</td> </tr> </table> <p>【補足事項】 ・全クラスともナンバープレート(車検)の有無は問わない。 ・「1Cクラス」と「2Cクラス」は、まとめて「1+2Cクラス」として表彰する。 ただし1Cクラス該当車については、「義務ピットインの回数が少なくてもよい」ハンディーをもらえる。 詳細は「ピットイン」の項と、「ピットハンディータイム」の項を参照のこと。 ・ロータリーエンジン車は3クラスとする。 ・クローズド、オープンの分けについては車両規則を確認のこと。 ・以下の車両は量産箱型車と著しく性能差があると判断し、エントリー出来ない。 ロータスエリーゼ、エクシージ等 箱型(モノコックフレーム)でない車両・・・スーパーセブン、ザウルス等 その他主催者が上記に属すると判断した車両</p>		ノーマルクラス (ほとんど改造が 出来ないクラス)	クローズドクラス (改造範囲の 狭いクラス)	オープンクラス (改造範囲の 広いクラス)	NAエンジン	KNNクラス	KNCクラス	KNOクラス	過給機付き エンジン	-----	KTCクラス	KTOクラス		クローズドクラス (改造範囲の 狭いクラス)	オープンクラス (改造範囲の 広いクラス)	1000cc 以下のNA車	1Cクラス	OPクラス	1001cc～1500cc のNA車 1200cc 以下の過給機付車	2Cクラス	1501cc 以上のNA車 1201cc 以上の過給機付車	3Cクラス
	ノーマルクラス (ほとんど改造が 出来ないクラス)	クローズドクラス (改造範囲の 狭いクラス)	オープンクラス (改造範囲の 広いクラス)																				
NAエンジン	KNNクラス	KNCクラス	KNOクラス																				
過給機付き エンジン	-----	KTCクラス	KTOクラス																				
	クローズドクラス (改造範囲の 狭いクラス)	オープンクラス (改造範囲の 広いクラス)																					
1000cc 以下のNA車	1Cクラス	OPクラス																					
1001cc～1500cc のNA車 1200cc 以下の過給機付車	2Cクラス																						
1501cc 以上のNA車 1201cc 以上の過給機付車	3Cクラス																						
<p>フリー走行 (練習走行)</p>	<p>・決勝前にフリー走行が約15分行われる。 ・ピットイン回数およびドライバー選定は自由。 ・助手席への同乗走行が認められる。ただし同乗者はドライバーと同一の装備で乗車すること。 ・フリー走行終了後は、ピットロードの指定ピット前に戻り待機すること。 ・決勝までの間の給油は許されるが、給油のルールを守ること。</p>																						
<p>グリッド順</p>	<p>・フリー走行のラスト5分でタイム計測を行い、その結果順に決勝グリッドに並ぶ。 ・タイム計測の結果はフリー走行終了後間もなく、掲示板やピットの柱に掲示される。 ・フリー走行でタイムを残せなかった場合は、タイムの残った最下位の車両の後ろのグリッドに並ぶ。 ・グリッドは2×2(ツーバイツー)を使用する。1位のチームが最前列右側、2位が最前列左側、3位が2列目右側、4位が2列目左側、(以下同順)・・・、という順番となる。 ・グリッド表は発表されないで、タイム計測結果から、自チームが何列目のどちら側か計算すること。</p>																						
<p>スタート方法</p>	<p>① フリー走行のタイム計測結果が発表された後、ピットロードエンドシグナルが青になったら、コースインを開始し、コースを1周回ってグリッドに着く ・ピットロードエンドシグナルは青になってから約2分後に赤となる。この間にコースイン出来なかった場合はピットスタートとなる。ピットスタートの場合はグリッドスタートの車両よりも(フォーメーションラップが無い分)周回数が1周少なくなることを了承しなければならない。</p>																						

	<ul style="list-style-type: none"> ・チーム員はグリッド上に出て自チーム車を誘導すること。 ・グリッド上ではリバースギヤは絶対に使用してはいけない(必要時は人力でバックさせること) ② 3分前ボード提示・・・ドライバー、オフィシャルを除く全ての者はコース上から退去する ・レーススタートまでの間はプラットホームおよびピットロードへの入場は禁止となる。 ③ 1分前ボード提示・・・ドライバーは車両に着座した状態でエンジンを始動する ④ フォーメーション開始・・・メインポストでグリーンフラッグが振られたら、セーフティーカーに先導されながら順列を保ったまま1周する。 ・フォーメーションラップ中は前車との間隔を5車身以内に保たなければならない。間隔があまりに開く場合はペナルティを課す。 ・セーフティーカーがピットロードに入ったらローリングスタートでレース開始となる。ただし、前車を追い越して良いのは管制塔前の計測ライン(白線)から先となる。
ピットイン	<p>ピットインは『義務ピットイン』と、『作業ピットイン』の2種類に分けられる。</p> <p>1)『義務ピットイン』について</p> <p>1)－1『K耐久』の場合</p> <ul style="list-style-type: none"> ・決勝スタートからチェッカーが振られるまでに、3回の義務ピットインを行わなければならない。 ・『義務ピットイン』を行なった時は、その際のラップタイム(※1)が6分以上(※2)でなければならない。この時間は各チームで計算して、ピットアウトタイミングを決めること。 ※1・・・ピットインの際にピットロードの管制塔前の計測ラインを通過した時点から、ピット作業を終了してコースインし、メインストレート上の計測ラインを通過するまでのラップタイムである。(スパ西浦モーターパークのラップタイム表においては、ピットロード上の計測ラインを通過した際のラップタイムには「P」の文字が記載される。よって「義務ピットイン時のラップタイム」とは、「P」の記載がある次の周回のラップタイムとなる。) ※2・・・6分を基準として、各種ハンディータイムで加減算される。 ハンディータイムの詳細については、大会規則の「ハンディータイム」の項を参照のこと。 ・『義務ピットイン』時のラップタイムが6分(±ハンディー)に満たなかった場合は、以下のペナルティが与えられる。 <ul style="list-style-type: none"> ①「0.001秒～1分」不足の場合・・・ペナルティストップ(1分)を課す ②「1分001秒」以上不足した場合・・・義務ピットインを消化したとは見なさない(作業ピットインであったと見なす) <p>1)－2『GT耐久』の場合</p> <ul style="list-style-type: none"> ・決勝スタートからチェッカーが振られるまでに、3回の義務ピットインを行わなければならない。 ただし「1C」クラスに属する車両は、1回の義務ピットインと、2回のドライバー交代を行えばよいこととする。 ・『義務ピットイン』を行なった時は、その際のラップタイム(※1)が5分以上でなければならない。この時間は各チームで計算して、ピットアウトタイミングを決めること。 ※1・・・ピットインの際にピットロードの管制塔前の計測ラインを通過した時点から、ピット作業を終了してコースインし、メインストレート上の計測ラインを通過するまでのラップタイムである。(スパ西浦モーターパークのラップタイム表においては、ピットロード上の計測ラインを通過した際のラップタイムには「P」の文字が記載される。よって「義務ピットイン時のラップタイム」とは、「P」の記載がある次の周回のラップタイムとなる。) ・『義務ピットイン』時のラップタイムが5分に満たなかった場合は、以下のペナルティが与えられる。 <ul style="list-style-type: none"> ①「0.001秒～1分」不足の場合・・・ペナルティストップ(1分)を課す ②「1分001秒」以上不足した場合・・・義務ピットインを消化したとは見なさない(作業ピットインであったと見なす) <p>2)『作業ピットイン』について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・『作業ピットイン』とはピットストップ時間が自由な(ピットイン時のラップタイムが管理されない)ピットインであり、その回数は自由とする。 ・『作業ピットイン』時に出来る作業内容は、『義務ピットイン』と同じである。 <p>3)その他の規定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ピットには水の入ったバケツを置いておくこと。 ・ピットレーンではリバースギヤは絶対に使用してはいけない(人力でバックさせること) ・ピットストップ時間に余裕がある場合、人力で車両を動かして(退出し易い)車両の向きに変えることが許される。ただし指定ピット付近から移動してはいけない。 ・作業が長時間に及ぶ場合は、車両を屋根下ピットに入れて作業すること。 ・ピットを水浸しにするような行為は、出火時等の緊急時を除いては慎むこと。(ラジエター、タイヤ等を冷却したい場合は噴霧器を使用すること) ・ピットロード、プラットホームでは以下の行為は危険なため禁止とする。 <ul style="list-style-type: none"> ① 傘の使用(日傘含む) ② ハイヒールの着用 ③ カカトの無いサンダルの着用

ピットハンディー タイム	<p>1) K耐久 ピットハンディータイムは毎回の「義務ピットイン時の基準ラップタイム(6分)」に加減算されるので、下記に該当する項目のあるチームは、「義務ピットイン時のラップタイム」が6分ではなくなることに留意すること。</p> <p>■プラスハンディー</p> <table border="1" data-bbox="411 315 1430 409"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>K耐久</th> <th>GT耐久</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>気筒容積アップ (要車両規則確認)</td> <td>+20秒</td> <td>適用されない</td> </tr> <tr> <td>オーバーフェンダー (片側 1cm 以上)</td> <td>+20秒</td> <td>適用されない</td> </tr> </tbody> </table> <p>■マイナスハンディー</p> <table border="1" data-bbox="411 465 1430 528"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>K耐久</th> <th>GT耐久</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>新規規格軽自動車</td> <td>-1分</td> <td>適用されない</td> </tr> </tbody> </table> <p>2) GT耐久 GT耐久においては、ピットタイムの増減によるハンディー調整は行わない。 ただし「1C」クラスに属する車両は、3回の義務ピットインを行う必要は無く、「1回の義務ピットインと2回のドライバー交代」を行えばよい。</p>	項目	K耐久	GT耐久	気筒容積アップ (要車両規則確認)	+20秒	適用されない	オーバーフェンダー (片側 1cm 以上)	+20秒	適用されない	項目	K耐久	GT耐久	新規規格軽自動車	-1分	適用されない
項目	K耐久	GT耐久														
気筒容積アップ (要車両規則確認)	+20秒	適用されない														
オーバーフェンダー (片側 1cm 以上)	+20秒	適用されない														
項目	K耐久	GT耐久														
新規規格軽自動車	-1分	適用されない														
給油	<ul style="list-style-type: none"> ・耐久走行中の給油は、必ず指定ピット前で行うこと。 ・給油者は給油作業前に、ピットに設置された静電気除去シートに触ること。 ・給油は金属製のガソリン携行缶を必ず使用すること。 ※ 樹脂製のポリタンクの使用は禁止 ・1度の給油は20Lまでとする。 ・給油時は給油している横で消火器を持った消火要員を1名待機させ、消火器のノズルを給油口に向けて構えること。 ・給油者および消火要員はヘルメット、グローブ、長袖長ズボンを着着のこと。 (着用するヘルメットはフルフェイスヘルメットの着用を強く推奨する) ・給油中はエンジンを必ず切ること。 ・給油中はドライバー交代(ベルト調整含む)以外の作業は全て禁止する。 (空気圧チェック、窓拭き、車載ビデオのバッテリー交換等も全て禁止) ・ピット用消火器は車載用とは別に、粉末重量2.0Kg以上(又はCO2 2.0Kg以上)のものを1チームに1本持参すること。 ・給油作業の無いチームも消火器の持参は必須とする。 															
赤旗時の運営方法	<p>1) 赤旗提示から停車までの流れ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・競技中断の必要があるアクシデントが発生した場合は、赤旗を提示してレースを一時中断する。 ・赤旗が全ポストで提示されたら、全競技車両は追突に注意しながらすみやかに速度を落とし、スロ一走行に移行すること。 ・赤旗提示中は追い越し禁止となる。 ・全車両はメインポスト横のスタートラインを先頭に、ストレート上の右側に寄って停車すること。 ・ただしメインポストで初めて赤旗を見た車両は、追突を防止するためにもう1周回ってから停車すること。 ・「赤旗」(＝「赤信号点滅」)が出たら、競技車両は以下の2通りの停止選択ができる。 <ol style="list-style-type: none"> ①コース上に残って競技再開を待つ方法 ②PITインしてピット又はピットレーンで競技再開を待つ方法 (ただし赤旗提示を見てPITインした車両は全て「作業ピットイン」扱いとなり「義務ピットイン」とはならないので注意すること) <p>2) 赤旗時のピットインについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・赤旗時にPITインした(＝8番ポスト通過時に既に赤旗が提示されていた)車両は、「義務ピットイン」扱いとはならない。 ・8番ポスト通過時に赤旗が提示されていたか否かは、8番ポストと管制塔にて確認・判断する。 ・赤旗提示前に既にピットインしていた義務ピットイン車両は、そのまま「義務ピットイン」としてカウントされる。 ・赤旗後に「義務ピットイン」扱いが再開するのは、競技再開後にセーフティーカー(以下SC)がピットインした直後の車両からとなる。 <p>3) 停車から競技再開までの流れ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ストレート上で待機している車両は、競技中断中にオフィシャルが指示し、暫定トップ車両を先頭に入れ替え(頭出し)を行う。 ・コース上で暫定トップ車両よりも前に停車していた車は、SCに先導されてコースを1周回り、隊列の後方に移動する。(このタイミングで作業ピットインすることも可能である) ・競技再開時はSCが隊列を連れて先導し、最終コーナーに差し掛かったところでSCがピットインして競技再開となる。この時前車を追い越してよいのは、管制塔前の計測ラインから先とする。 ・競技再開時には、SCは基本的に1周でピットインするが、レースの状況により競技長が判断した時は、2周以上走行してからピットインする場合がある。この場合には、ストレート上に待機している各車両にオフィシャルから通達を行う。 ・赤旗中断中にピットロードで待機していた車両は、SCがピットインした後に隊列が全てストレートを 															

	<p>通過し、ピットロードエンドシグナルが青となったタイミングでコースインが出来る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・SCが2周以上走行してからピットインするケースにおいて、ピットロードで待機している車両がコースイン出来るのは、SCと競技車両の隊列が全て1周目のストレートを通過したタイミングとする。(ピットエンドシグナルに従うこと) <p>4) 赤旗要素となった車両の扱い</p> <ul style="list-style-type: none"> ・赤旗要素となった車両で走行に問題があると判断された場合は、車両はレッカー(もしくは自走)で洗車場に移動される。 ・赤旗要素となってレスキューを受けた車両は、結果的に走行に問題が無いような場合でもコース上の隊列に戻ることはできず、必ず一旦「指定ピット」に戻らなければならない。(この際のピットインは義務ピットイン扱いにはならない)
コースアウト時等の対処	<ul style="list-style-type: none"> ・コースアウト又はマシントラブル等で赤旗要素となり、走行に問題があると運営側が判断した車両は、洗車場に移動される。 ・ジャリ、土を噛んでいる場合はそれを十分に落とし、オフィシャルがトラブル箇所を確認し、ピットロードへの復帰に問題が無いと判断された後に、コースインゲートよりピットロードに戻ることが出来る。 ・洗車場に移動された車両がピットロードに戻れるタイミングは、競技再開のSCがコースインゲート(管制塔の横のゲート)を通過した後となる。(つまり、洗車場に移動された車両がすぐにレースに復帰出来る状態であったとしても、その時の赤旗中断が解除されるまではピットロードに戻れない) ・赤旗要素となり洗車場に行った車両は、洗車場からピットロードに復帰する際にはいかなるタイミングであっても『義務ピットイン』は選択できない。(『義務ピットイン』を使えるのは、一旦コースインした後となる。) ・自身が引き起こした赤旗よりも、後に発生した別の赤旗時であれば、赤旗中のタイミングでも洗車場からピットロードに戻ることは許される。 ・ドライバー交代および、給油作業は、必ず指定ピットで行うこと。
ペナルティ	<p>レース中に違反を犯した車両はペナルティを課される。 レース中に実行されるペナルティには、①『ドライビングスルーペナルティ』と、②『ペナルティストップ』の2種類がある。</p> <p>①『ドライビングスルーペナルティ』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象車両には、メインポストで「D」ボードと、「ゼッケンボード」を同時に提示して告知される。 ・提示された車両はピットインし、40Km以下でピットロードを通過しなければならない。 ・ドライビングスルーペナルティ実行時は自己ピットに止まることはできない。 ・ボードを提示されてから3周以内にペナルティを実行しなかった場合、以降1周経過する毎に、リザルトから1周減算のペナルティを課される。(ボード提示後、メインポストを3回通過までは減算ペナルティは付かない。例えば5回通過した場合は、2周減算となる。) ■『ドライビングスルーペナルティ』の対象となる主な違反行為は下記の通りである。 <ul style="list-style-type: none"> ・「黄旗時追い越し」／「赤旗時追い越し」／「ピットロード速度違反」／「青旗無視」／「フォーメーションラップ中の車間開け過ぎ」 <p>②『ペナルティストップ』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象車両には、メインポストで「P」ボードと、「ゼッケンボード」を同時に提示して告知される。 ・提示された車両はピットインし、1番ピット先にあるストップエリア(白線で四角表示がある箇所)に止まり、スタッフの指示に従わなければならない。 ・スタッフの指示は、主に「忠告のみ」「1分停止」「3分停止」がある。 ・ペナルティストップ実行時は自己ピットに止まることはできない。 ・ボードを提示されてから3周以内にペナルティを実行しなかった場合、以降1周経過する毎に、リザルトから1周減算のペナルティを課される。(ボード提示後、メインポストを3回通過までは減算ペナルティは付かない。例えば5回通過した場合は、2周減算となる。) ■『ペナルティストップ』の対象となる主な違反行為は下記の通りである。 <ol style="list-style-type: none"> 1) 忠告のみ 「ホワイトラインカット」／「運転席窓開き走行」／「ハザード走行」／「危険走行」 2) 1分停止 「義務ピットイン時間不足 (「0.001秒～1分」不足)」 3) 3分停止 「PITエンドシグナル無視」 <p>③上記2種類のペナルティの他に、最終結果より周回数を減算されるペナルティがある。 ■『減算ペナルティ』の対象となる主な違反行為は下記の通り</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ペナルティボード提示を4周以上無視した場合 (4回目以降1周ずつ減算が増える) ・チェッカー間隙で『ドライビングスルーペナルティ』または『ペナルティストップ』が実行出来なかった場合。(状況に応じて競技長が減算周回数を決定する)
チェッカー	<ul style="list-style-type: none"> ・決勝終了時刻が過ぎた後、総合1位の車両を先頭にメインポストでチェッカーが振られ、決勝が終了となる。 ・チェッカーはメインポストで振られるが、順位の認定は管制塔前の計測ライン(白線)を通過した順となる。(計測ライン通過後、メインポストまでの間に追い抜いても無効である)

『2012 K耐久／GT耐久東海シリーズ』 大会規則／安全規則 Ver.1-3

<p>装備品</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ドライバーは、「ヘルメット(SNELL規格又はJIS C種が望ましい)、グローブ(自動車ドライビング用で指先まで覆うもの)、厚手の長袖と長ズボン(レーシングスーツが望ましい)、運転に適したシューズ(レーシングシューズが望ましい)」を必着のこと。 ※長袖、長ズボンの着用は、レースアクシデント時にケガや火傷から身を守るためであることを理解の上、厚手で燃えにくい綿素材のものを着用することを強く推奨する。 ・レーシングスーツは安全上ダブルレイヤー以上のものが望ましい。 ・走行中に袖を腕まくりすることは禁止される。 																																										
<p>準備必須品</p>	<ul style="list-style-type: none"> 各チームは給油の有無に関わらず、下記の備品を必ず準備しピットに常備すること。 ・ピット用消火器(粉末重量2.0Kg以上、CO2 2.0Kg以上)※車載の物とは別に準備すること ・バケツ(水を入れてピットに置いておくこと) 																																										
<p>ゼッケン</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ゼッケンは各チームで準備すること。 ・ゼッケンは下記の4箇所に貼り付けること。 ①ボンネット ②③左右ドア ④リヤ ・書体はゴシック体とし、1文字の大きさは、①②③は高さ240mm以上、幅120mm以上、太さ30mm以上。④は高さ120mm以上、幅60mm以上、太さ15mm以上であること。 ・車体色に対して見えやすい色にすること。(ゼッケンが見えにくい車体色の場合は、白いゼッケンベースを貼り、その上に黒文字のゼッケンを貼ること) ・障害者用操作装置を装着した車両は、黄色のゼッケンベースに黒文字のゼッケンを貼ること。 ・新年度の希望ゼッケン番号は、前年度の利用者より優先権が与えられる。前年度に参加歴の無いチームは申込順に優先権を与える。 ・一度取得したゼッケン番号は、その年度は優先的に使用することができる。 																																										
<p>窓の開閉</p>	<p>サーキット走行中は運転席側の窓は閉めること。助手席および後部座席の窓は開けてもよい。ただしウインドウセーフティーネットを運転席側に装着した場合は、窓を開けて走行することが許される。</p>																																										
<p>順位の認定および完走の規定について</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・順位認定は、管制塔前の計測ライン上(ピットレーン上含む)でチェッカーを受けて最終周回を完了した車両に対して優先的に与えられる。 ・順位はチェッカーフラッグが振られた後に完了する周回数の多い車両から決定される。同一周回の場合は、管制塔前の計測ライン(ピットレーン上含む)通過順位によるものとする。 ・チェッカーを受けられなかった車両のうち、(各クラスの)優勝車両の走行周回数の70%以上(端数切捨て)を走行した車両は、チェッカーを受けた車両の後に順位付けされる。 ・走行周回数が、(各クラスの)優勝車両の走行周回数の70%未満(端数切捨て)の車両は順位の認定を受けられない。(完走扱いとはならない) 																																										
<p>賞典</p>	<p>クラスごとに表彰を行ない、総合順位での表彰は行わない。 賞典の対象台数は各クラスの参加台数によって以下の通りとする。</p> <table border="1" data-bbox="416 1171 1310 1357"> <thead> <tr> <th>クラス参加台数</th> <th>1位</th> <th>2位</th> <th>3位</th> <th>4位</th> <th>5位</th> <th>6位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>9台以上</td> <td>賞典</td> <td>賞典</td> <td>賞典</td> <td>賞典</td> <td>賞典</td> <td>賞典</td> </tr> <tr> <td>7～8台</td> <td>賞典</td> <td>賞典</td> <td>賞典</td> <td>賞典</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>5～6台</td> <td>賞典</td> <td>賞典</td> <td>賞典</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>3～4台</td> <td>賞典</td> <td>賞典</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>2台以下</td> <td>賞典</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>※賞典はトロフィーと副賞となる。</p>	クラス参加台数	1位	2位	3位	4位	5位	6位	9台以上	賞典	賞典	賞典	賞典	賞典	賞典	7～8台	賞典	賞典	賞典	賞典	—	—	5～6台	賞典	賞典	賞典	—	—	—	3～4台	賞典	賞典	—	—	—	—	2台以下	賞典	—	—	—	—	—
クラス参加台数	1位	2位	3位	4位	5位	6位																																					
9台以上	賞典	賞典	賞典	賞典	賞典	賞典																																					
7～8台	賞典	賞典	賞典	賞典	—	—																																					
5～6台	賞典	賞典	賞典	—	—	—																																					
3～4台	賞典	賞典	—	—	—	—																																					
2台以下	賞典	—	—	—	—	—																																					
<p>シリーズポイント</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・クラスごとの順位で毎戦ポイントを与え、1～5戦の合計をシリーズポイントとしシリーズ順位を付ける。 ・ポイントはクラスごとで、完走扱い車両の上位から10位までの車両に与えられる。 ・ポイントは下表の通りとする。(全戦共通) <table border="1" data-bbox="453 1507 1026 1659"> <tbody> <tr> <td>1位</td> <td>20点</td> <td>6位</td> <td>6点</td> </tr> <tr> <td>2位</td> <td>15点</td> <td>7位</td> <td>4点</td> </tr> <tr> <td>3位</td> <td>12点</td> <td>8位</td> <td>3点</td> </tr> <tr> <td>4位</td> <td>10点</td> <td>9位</td> <td>2点</td> </tr> <tr> <td>5位</td> <td>8点</td> <td>10位</td> <td>1点</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・ポイントはチームに付くものとする。よってシーズン途中で車両の変更があった場合でも、チームとしてのポイントは継続する。ただし、クラスを変更した場合はポイントの継続は出来ない。 ・合計が同ポイントの場合の順位は上位得点の回数が多い順に決定される。 なお、上位得点の回数が同一である場合は、最終戦時に獲得したポイントが高い順によって決定し、それでも決まらない場合はカウントバック方式により最終戦の前戦時、前々戦時・・・に獲得したポイントが高い順によって決定する。 ・当該レースにおいて失格した場合は、ポイントは獲得出来ない。 ・シリーズ順位上位チームは最終戦でシリーズ表彰をする。ただし各クラスの表彰対象は、1～5戦までの平均参加台数によって決まる。 <table border="1" data-bbox="453 1955 1026 2045"> <thead> <tr> <th>平均参加台数</th> <th>表彰対象台数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>8台以上</td> <td>シリーズ6位まで</td> </tr> <tr> <td>6～7台</td> <td>シリーズ4位まで</td> </tr> </tbody> </table>	1位	20点	6位	6点	2位	15点	7位	4点	3位	12点	8位	3点	4位	10点	9位	2点	5位	8点	10位	1点	平均参加台数	表彰対象台数	8台以上	シリーズ6位まで	6～7台	シリーズ4位まで																
1位	20点	6位	6点																																								
2位	15点	7位	4点																																								
3位	12点	8位	3点																																								
4位	10点	9位	2点																																								
5位	8点	10位	1点																																								
平均参加台数	表彰対象台数																																										
8台以上	シリーズ6位まで																																										
6～7台	シリーズ4位まで																																										

『2012 K耐久／GT耐久東海シリーズ』 大会規則／安全規則 Ver.1-3

	<table border="1"> <tr> <td>4～5台</td> <td>シリーズ3位まで</td> </tr> <tr> <td>2台以下</td> <td>シリーズ1位まで</td> </tr> </table> <p>※平均台数は小数点以下切り上げとする。つまり平均 3.1 台の場合は 4 台と換算。</p>	4～5台	シリーズ3位まで	2台以下	シリーズ1位まで
4～5台	シリーズ3位まで				
2台以下	シリーズ1位まで				
再車検	<ul style="list-style-type: none"> ・クローズド、ノーマルクラスの上位入賞車両は、レース終了後に車両重量測定を行なう場合がある。指示を受けた車両は車両保管場所へ移動し、重量測定の順番を待つこと。車両保管中はウエイトの載せ下ろしなどの不正を防止するため、車両に触れることを禁止する。 ・K耐久で車両重量測定の指示を受けたチームは、必要に応じてチームで準備したガソリンを注入すること。ガソリンの注入は車両保管場所で行うことが認められる。 ・レース終了後に、暫定上位入賞車両には再車検の指示が出る場合がある。 ・再車検でオフィシャルより作業の指示が出た場合は、チーム員がその作業を行うこと。 ・再車検にてレギュレーション違反が発覚した場合は完走扱いにならない。 				
ウエイトハンディー	<p>2012年度よりウエイトハンディー制度は廃止する。</p>				

『2012 K耐久／GT耐久東海シリーズ』 大会規則／安全規則 Ver.1-3

【安全規定】(全クラス共通)

※昨年からの変更点は赤色で記載してあります。

ロールケージ	<p>ロールケージの材質は、来年度(2013年)から鋼管製(クロモリ製含む)のものに限定するので、新規装着の場合は必ず鋼管製の物を使用すること。</p> <p>① オープンクラスの車両・・・4点式以上のロールケージを取り付けることが義務付けられる。 以下の条件に当てはまる車両は、運転席側にドアバーを取り付けることが義務付けられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ドアビームを取り外した車両 ・ 合成樹脂製のドアに変更した車両 ・ 標準でドアビームが無い車両 <p>② クローズドクラスおよびノーマルクラスの車両・・・ロールケージの装着を強く推奨する。 オープンカーは4点式以上のロールケージを取り付けることが義務付けられる。 ※スチール製以外の脱着ルーフおよび開閉ルーフの車両はオープンカーと見なす。 ※オープンカーは6点式以上のロールケージを装着している場合に限り、ルーフを開けて(外して)走行することが許される。 ※ロールケージの装着を推進するため、装着の有無によってエントリー代に差を設ける。</p>
シートベルト	<p>4点式以上のシートベルトを装着することが義務付けられる。 シートベルトは確実な方法で車体に固定すること。 取り付けのためのボディー加工は可能だが、最小限にとどめること。</p>
車載消火器	<p>全ての車両は消火器を搭載することが義務付けられる。</p> <p>① 仕様 消火器は粉末2Kg以上の内容量が必要である。(または「別表1」に記載してある、FIA国際モータースポーツ競技規則 付則J項 第253条に認められた物を装備してもよい)</p> <p>② 取付場所／取り外し 消火器はドライバー等が容易に取り外せる位置に取り付けなければならない。 (推奨場所は助手席の足元)</p> <p>③ 取付方法 ・クラッシュした際に耐えられるように頑丈に取り付けなければならない。 ・取付け方向は車両の前後方向中心線に対して、出来る限り直角に近い状態にすること。 ・金属製ストラップの付いたワンタッチ金具の装着が認められる。(2箇所以上を推奨する)</p>
前後牽引フック	<p>前後に牽引フックを装着することが義務付けられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・牽引フックは車両を牽引して移動するのに十分な強度を有していなければならない。 ・牽引フックは車両が砂地に停車した時でも使用が可能な位置に極力取り付けること。 ・砂地に停車した時に牽引フックが隠れる可能性がある場合は、黄色、オレンジ色、赤色の矢印で、牽引フックの位置を明記すること。 ・黄色、オレンジ色、赤色のいずれかに塗装されていること。 ・その他の仕様についてはJAFの安全規定に合致したもの(内径φ50、断面積1平方センチ以上)を推奨する。 <p>※構造上牽引フックの装着が困難な車両は、フックの代わりに牽引ロープを装着することを特認する。</p>
イグニッションスイッチ	<p>イグニッションスイッチおよび、燃料ポンプスイッチは、その位置が容易に確認出来るよう黄色で明示しなければならない。</p>
安全燃料タンク	<ul style="list-style-type: none"> ・全クラスとも安全燃料タンクの装着が許される。 ・安全燃料タンクはFIA公認品の使用を強く推奨する。 ・コレクタータンクを別に装着する場合は最大容量 2L までとする。 ・取り付けは当初の燃料タンクの位置、あるいは荷物室に取り付けることが許される。 ・漏出した燃料が車室内に滞留しない構造であること。また、荷物室に設置した場合、アルミ板等の難燃性材料による隔壁を取り付けなければならない。 <p>※その他取付けにあたっては「JAF国内競技車両規則 第4章第12条『安全燃料タンク』」の項を参考にすること。</p>
ライト	<p>ガラス製のライト類には無色透明の飛散防止テーピングを施さなければならない。(プラスチックレンズは不要)</p>
床	<p>防音材、防振材は取り外すことが許される。 カーペットは取り外すことを推奨する。</p>
バッテリー、オルタネーター	<p>バッテリーおよびオルタネーターの+端子は、クラッシュ時の火災を防止するために、テーピングして絶縁すること。(純正のゴムカバーも可だが簡単にめくれないようにテープで巻くこと) オープンクラスで「ドライタイプでないバッテリー」を室内に移設する場合は、頑丈なカバーでバッテリー一全面を覆うこと。</p>
オイルキャッチタンク	<p>ブローバイ経路を変える場合、大気開放は禁止とし、オイルキャッチタンクで受けること。 オイルキャッチタンクの取り付け方法は、針金やテープなどによる暫定的なものであってはならない。 容量は2L以上を推奨する。</p>
ウインドウネット	<p>装着は自由。(運転席に装着した場合は窓を開けて走行することが許される) ネットはレース用として販売されている物、又は同等の強度・品質・寸法を持つものに限る。 ゴルフネットやバイクのラゲッジネットなどの使用は認められない。</p>

※上記に記載の無い項目について安全対策を施す場合は、JAF国内競技車両規則を参考にすること。

別表1

参考)2009 年国際モータースポーツ競技規則 付則J項 第 253 条 抜粋	
7.3.2) 認められる消火剤	AFFF、FX G-TEC、Viro3、粉末消火剤、FIAが公認したその他の消火剤
7.3.3) 消火剤の最少容量	AFFF:2. 4L FX G-TEC:2. 0Kg Viro3:2. 0Kg Zero360:2. 0Kg 粉末:2. 0Kg